

研修名 保健衛生 安全対策

平成30年12月21日（金）9：30～12：30

講演 「血液を介して感染する病期の防止と保育園における感染症対策」

講師 大阪府済生会 中津病院 安井 良則 氏



1. 講演要旨

1) ① 感染症とは？

インフルエンザウイルスやノロウイルスなどの病原微生物がヒトの体内に侵入・増殖し、「感染」した場合、全員が発症し、「感染症」を引き起こすものではない。

② 飛沫感染

肺炎、気管支炎、咽頭炎の場合くしゃみや咳によって患者から放出された水滴（飛沫）には感染症を持った病原体が含まれている。感染対策は、飛沫を浴びて吸い込まないようにする。

③ 接触感染

最も重要で、基本となる対策は「手洗い」など手指衛生である。

④ 空気（飛沫核）感染

対策の基本は、「発病者の隔離」と「部屋の換気」

「麻疹」と「水痘」への有効な対策はワクチンの接種しかない。



2) ① 手洗いについて

流水下の液体石鹸による手洗いが推奨される。ペーパータオル使用を推奨。

3) ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎・・・飛沫感染と直接接触による感染

- ・咽頭結膜炎・・・咳エチケット
- ・RSウイルス感染症・・・鼻汁、喀痰などから接触感染あるいは飛沫感染による呼吸器感染症
- ・ノロウイルス・・・嘔吐、下痢をおこす。接触感染・飛沫感染
- ・インフルエンザ・・・飛沫感染。対策は「咳エチケット」手洗い、消毒
- ・伝染性紅斑・・・接触感染・飛沫感染（妊婦などの感染後のリスクが高い）

2. 感想

とてもわかりやすく為になる講義でした。

感染症の種類も多く、私たちの日頃の視診や気づきが感染予防にも繋がると思えます。手洗いの液体石鹸もつぎ足しで補充していたのを園全体で見直し、新しい容器への入れ替えをすぐ実践しました。部屋のアルコール消毒のタイミングやその対策が有効な感染症もあれば役に立たない感染症もあると知りました。

適切な予防対策をして集団生活のなかで過ごす子どもたちの健康を守って行きたいと思えます。ありがとうございました。

（記録 山鳩第二こども園 福田 美佐子）